

画像データの提供について

新技術・新工法情報データベースに画像添付を希望する場合は、画像データ 1 枚 (JPEG) を下記送付先までメールにて送付願います。(画面例の赤丸部分)
なお、画像データのサイズは、「150pix×150pix 程度の大きさ」とします。

(画面例)

ふじのくに
静岡県公式ホームページ

携帯電話向けページ Foreign language

組織(部署)から探す リンク集 サイトマップ

ホーム

くらし・環境

健康・福祉

教育・文化

産業・雇用

交流・まちづくり

県政情報

サイト内検索

検索

詳細検索 | 検索の仕方 |

ホーム > 組織別情報 > 交通基盤部 > 技術管理課 > 新技術・新工法 > 新技術・新工法情報データベース > 土木・共通工・法面工 > GTフレーム工法

New technology & New method of construction

新技術・新工法情報データベース

登録番号	1332		
登録番号(NETIS)	CB-070019-A		
評価結果	レベル3		
区分	工法		
分野	共通工 / 法面工		
新技術名称	GTフレーム工法		
副題	ジオグリッドおよび短繊維混合補強砂を用いたのり面表層保護工		
従来技術名称	モルタル吹付法砕工		
問い合わせ先	イビデングリーンテック㈱ 054-255-2440		
概要	補強盛土工法などで用いられるジオシンセティックス(ジオグリッド、短繊維)を利用した新しい吹付法砕工法である。柔な法枠構造によって、ねばり強く法面・斜面を補強するとともに、法枠面を含む全面緑化が可能となり、美観・景観性に優れ、周辺環境との調和が図れる。また、法枠施工時における廃棄物発生量の削減やCO2排出量の削減など、環境負荷の低減に貢献できる。さらに、施工が容易で工期が短縮でき、かつ経済性に優れた法面表層保護工である。		
活用に当たっての留意事項	・「GTフレーム工法 設計・施工マニュアル」に基づいて設計・施工管理すること。・枠内に鉄筋挿入工やグラウンドアンカー工を併用する場合には、各工法の基準に準じて設計すること。		
適用可能な箇所	・法面の勾配 : 1:1 ・土質 : 砂質土 ・土質:すべり深さ0.5m		

【全文書:PDF形式ファイル】



この部分に添付する画像データ (JPEG) を提供願います。
ただし、データのサイズは「150pix×150pix 程度」とします。

<画像データの送付先>

静岡県 交通基盤部 建設経済局 技術調査課 建設技術監理センター
メールアドレス : gijyutsu-center@pref.shizuoka.lg.jp
電話番号 : 054-268-5004